22年度初弾工

公園体育館の改修で

再検討する。民間活力導入も拡大エリアを含めて可能性調査を行う。整備日程は流動的になったもよう。当初は21年度までにアドバイザリー業務委託や事業者選定などを予定。22年度から設計・施工に着手し、23年度の供公園。当初計画から3施設と個々の連携をとる予定だったが、エリア全体約8500㎡に整備する計画。農業交流施設本館（床面積990㎡）など建築・外構工事4億7000万円、周辺施設整備5億5440万円など。

全体改修を計画している上尾運動公園体育館

施工についてはひび割れや剥離、漏水対策などを見据えている。工法に関しては検討中としている。

築のうちアリーナ部分が床・天井張り替え、内壁塗装、躯体鉄部塗装、建具を改修する。廊下・階段・主要室については内壁・天井、巾木塗装、建具、手摺り鉄部塗装、建具が対象となっている。

また電気・機械設備がアリーナ・廊下・階段・主要室のLED照明交換、消防設備更新、音響設備更新、給湯設備更新などを予定している。

施設規模はRC造一部S造3階建て、延べ床面積7184㎡・耐震安全性の分類は構造体Ⅱ類、建築非構造部材A類、建築設備乙類。

秩父農林

21年度にも補修着手

2橋で縁端拡幅など計画

秩父農林振興センターは、順調なら2021年度に秩父市大滝地内にある無明橋と無名橋で補修工事を発注・着手する。年度内では八州北関東支社（さいたま市、☎048－640－5688）が調査・補修設計を21年1月25日納期でまとめる。

工事は主に縁端拡幅工を想定しており、桁かかり部を拡大する。またひび割れ補修や伸縮装置設置なども見据える。

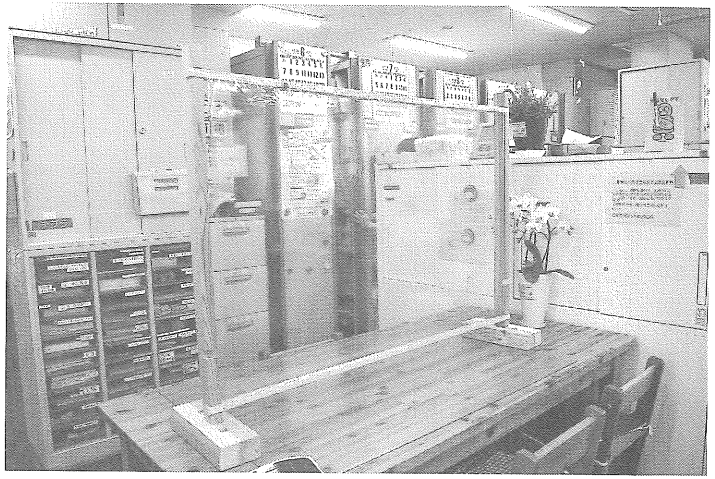
対象2橋は森林管理道大血川線上に位置している。無明橋が橋長13・6mで、大血川渓流観光釣場そばに位置する。さらに北西へ120m進んだ場所に無名橋（橋長4・3m）が架かっている。

諸元はともに1961年完成で、全幅員5・8m（車道5m）。上部工が単径間RC桁でRC床版、下部工が重力式橋台を有する。基礎には直接基礎を採用している。

木製パーティション100セット

県木材協会が寄贈

埼玉県木材協会（島崎政敏会長）は8日、新型コロナウイルス対策に活用してもらうことを目的として、県に木製パーティション100セットを寄贈した。パーティションは県庁各課の受付窓口に順次、設置される。協会に対して大野元裕知事から感謝状が贈られた。



県産木材で作られたパーティション

利根川上流

見積活用方式を採用

予備発電設備ほか改修で

利根川上流河川事務所は9日に一般競争入札を公告した羽生市ほかのR1利根川上流管内予備発電設備ほか改修工事で、不調・不落対策として見積活用方式、施工箇所が点在する積算方式などを採用する。入札書などの提出期限は8月27日で、開札は9月1日。

▽見積活用方式＝予備算出する▽配置予定技術者の専任を要しない期間設定＝予備発電設備の製作を行う工事のため、主任（監理）技術者の専任配置は9月30日以降に求める――など。

入札方式は一般競争・総合評価。受変電設備の工事種別となる。

搬する費用など、積算額と実際にかかる費用に差異が生じる可能性があるため、工事箇所ごとに共通仮設費、現場管理費を

荒川上流

28日まで業者募集

災害時の応急対策業務

荒川上流河川事務所は災害時などにおける応急対策業務が対象。同事務所では初めての取り組みとドできる。

協定区分の業務名と募集想定数は次のとおり。

▽工事用測量＝10社程度

▽空中写真測量＝5社

工事概要は羽生市本川俣840の川俣出張所ほかにおいて予備発電設備・75KVA1台、予備発電設備移設2カ所、受変電設備移設2カ所、建屋改修1カ所、配管および配線工1式ほかを施工。工期は2021年3月26日まで。

川口工高改修

協議後に発注

県教育局

県教育局は川口工業高校（川口市南前川1－10－1）で、大規模改修を計画している。現段階で6600～7000万円程度を想定。関係者との協議後に工事発注する見通しだ。2020年度は設計をまとめるため、業務をこのほど指名通知した。工事内容は照明LED化、電話設備、放送設備、給排水、衛生設備、火災報知機、受変電設備、空調設備などを対象に改修する計画。施設規模はRC造4階建て、延べ床面積3940㎡。

支える、

コンクリート製品

営業品目

●道路用コンクリート製品
●上下水道用コンクリート製品

◆コンクリート製品◆
・下水道　水道　浸透用各種桝
・ハンドホール
・照明灯基礎ブロック
・沓石　地先　ピンコロ　U字溝
・特注製品・万能型枠ヒロベース
◆アスファルト製品◆

レンタル　yamamoto

NT式耐

ロングU・BOX
ニューウォルコン